



西条市立西条図書館ヤングアダルトコーナーフェア案内

YAおすすめ本 2022年月8月

フェアテーマ

『探究』



2023年度NHKの朝ドラが高知県出身の牧野富太郎さんのお話に決まりました。四国中央市出身のノーベル物理学賞を受賞された真鍋淑郎さんといい、西宇和郡出身で同じくノーベル物理学賞を受賞された中村修二さん等、四国が誇る偉大な研究者が数多くおられます。そんな研究者たちの功績を称えるとともに、研究の一步を踏み出すべく、どんな研究をどんな風に進めたらよいかなど、夏休みにぴったりの探究本を揃えてみました。ぜひ自分の好奇心を高めるために手に取ってみてください。



西条市立西条図書館

住所：西条市大町1590

TEL0897-56-2668

開館時間9：30a.m.~20：30p.m.

8月フェア『研究』おススメ本をご紹介



『牧野富太郎』

清水 洋美 汐文社 2020.7 /289/マ/

日本全国の野山を歩いて集めた標本は 40 万点。調べて分類し、名前をつけた植物が 1500 種類。「日本の植物学の父」とよばれる牧野富太郎の 94 年にわたる人生を描く。富太郎採集マップ、富太郎ゆかりの場所なども収録。



『さばの缶づめ、宇宙へいく』

小坂 康之 イースト・プレス 2022.1 /667.9/J/

宇宙食さば缶の開発はどのように始まり、幾多の困難を乗り越え、JAXA の正式認証を勝ち得て、宇宙に飛ばすことができたのか。福井県立若狭高校の生徒と、彼らの頑張りに引っ張られた大人たちが織り成したドラマを描く。



『マイテーマの探し方』

片岡 則夫 筑摩書房 2021.11 /375/カ/

自分でテーマを決めて「調べる学習」をしたり「研究論文」を書いたりする「探究学習」の機会が増えている。探究学習の基礎から、マイテーマの探し方、研究論文のデザインまで、中高生の豊富な実例とともに説明する。



8月フェア『研究』おススメ本をご紹介



『無駄なマシンを発明しよう!』

藤原 麻里菜 技術評論社 2021.7 /540/7/

インスタ映え台無しマシン、電気がつくと電気を消すマシンなど、無駄なものをつくるための簡単な工作やパソコンでのプログラミングを解説。アイディアの考え方とそれをかたちにするまでの工程も紹介する。



『ライトニング・メアリ』

アンシア・シモンズ 岩波書店 2022.2 /289/7/

赤ん坊のころ落雷に直撃され、父から「稲妻（ライトニング）メアリ」と呼ばれた少女メアリ。父を手伝い、海岸で化石を発掘するメアリは地質学に目覚め…。12歳で世界初の魚竜イクチオサウルスの化石を発見したメアリの物語



『沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う』

山船 晃太郎 新潮社 2021.7 /202.5/7/

イタリアのドブ川で超レア古代船を掘り出し、ギリシャの離島で水深60mの沈没船の記録作業をし、コスタリカでは地元で「海賊船」と噂される船の正体を推理…。水中考古学者が、発掘現場のリアルを紹介する。



8月フェア『研究』おススメ本をご紹介



『恐竜学者は止まらない!』

田中 康平 創元社 2021.8 /457.8/外/

恐竜学者を目指して北の大地に旅立ち、大学院ではカナダに留学。恐竜の謎を追い求めモンゴル、中国、アメリカ、ウズベキスタンへ。恐竜の生き生きとした行動・生態を解き明かすべく奮闘し続ける日々を綴る。



『世界は変形菌でいっぱいだ』

増井 真那 朝日出版社 2017.11 /473/マ/

5歳で変形菌と運命的な出会いをし、6歳より飼育を、7歳より研究を始めた歳の著者が、変形菌とすごした10年間に見たこと、体験したこと、知ったこと、考えたことなどを綴る。内閣総理大臣賞に輝いた研究も掲載。



『生命の始まりを探して僕は生物学者になった』

長沼 毅 河出書房新社 2016.7 /460/ナ/

深海、砂漠、北極&南極…。 “科学界のインディ・ジョーンズ” が、体当たりで辺境を駆け巡る! 「生命とはなんだろうか」という問いを追い求めて旅をしてきた長沼毅が、その軌跡を紹介する。

